



注意事項および制約事項

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco Nexus 7000 シリーズおよび Cisco MDS 9500 の FCoE の確認済みの制限値, 1 ページ](#)
- [Cisco Nexus 7000 : 注意事項および制約事項, 1 ページ](#)
- [Cisco MDS 9500 : 注意事項および制約事項, 2 ページ](#)

Cisco Nexus 7000 シリーズおよび Cisco MDS 9500 の FCoE の確認済みの制限値

設定の制限は、『*Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Verified Scalability Guide*』に記載されています。

Cisco Nexus 7000 : 注意事項および制約事項

- デフォルト VLAN 上の FCoE はイネーブルにできません。
- QoS ポリシーは、ネットワーク内のすべての Cisco FCoE スイッチで同一である必要があります。
- Cisco NX-OS Release 6.1 以降では、FCoE は F2 シリーズ モジュールでサポートされます。

FCoE VDC

専用ストレージ VDC の FCoE に関するガイドラインは、次のとおりです。

- FCoE フィーチャセットは、1 つの VDC でのみイネーブルにします。
- FCoE により割り当てられた VLAN 範囲内で VLAN を作成します。
- 専用の FCoE VDC のストレージ関連の機能以外の他の機能をイネーブルにしないでください。

- 32ポート 1ギガビットおよび 10ギガビット イーサネット I/O モジュール (PID N7K-F132XP-15) などの F シリーズ モジュール から、リソースを専用 FCoE VDC に割り当てます。
- ストレージ VDC ではロールバックはサポートされていません。
- F2 シリーズ モジュール の FCoE サポート を行う場合、SF248XP-25 には Supervisor 2 モジュールが必要です。
- F2 シリーズ モジュール は、同じ VDC で他のモジュールタイプと共存できません。これは、LAN とストレージ VDC の両方に当てはまります。

共有インターフェイス



(注) プロトコル ステート は、ポート機能により共有インターフェイスの親ポートをフラップするため、これを変更すると、ストレージ VDC の FCoE トラフィックに影響を与えます。

次のインターフェイス コンフィギュレーション モードは、イーサネット VDC からストレージ VDC までインターフェイスが共有されている間は使用できません。

- SPAN 宛先
- プライベート VLAN モード
- ポートチャネル インターフェイス
- アクセス モード
- mac-packet-classify
- 関連する QoS ポリシーが設定された VLAN の一部であるインターフェイス

共有イーサネット インターフェイスはトランク モードで、他の 1 つの VDC とだけ共有する必要があります。

Cisco MDS 9500 : 注意事項および制約事項

- デフォルト VLAN 上の FCoE はイネーブルにできません。
- FCoE モジュール上の FCoE だけをイネーブルにできます。
- QoS ポリシーは、ネットワーク内のすべての Cisco FCoE スイッチで同一である必要があります。
- Cisco MDS 9500 では、LAN トラフィックはサポートされていません。FCoE フレームだけが受け入れられ、処理されます。
- FCoE を設定するには、Supervisor-2A モジュールをインストールする必要があります。

- FC-Redirect サービスを使用するファブリックに FCoE モジュールをインストールできます。ただし、FC-Redirect サービスアプリケーションモジュールがイネーブルにされた同じスイッチに FCoE モジュールをインストールしないでください。
- SME は、MDS FCoE ラインカード (DX-X9708-K9) で接続されたデバイスなど、FCoE 接続のデバイスをサポートしていません。
- Cisco MDS NX-OS Release 5.2(x) では、DMM、SME、または IOA を実行しているスイッチに FCoE モジュールをインストールできません。

